

淑徳共生苑だより 51号

令和2年10月発行

社会福祉法人淑徳福祉会

千葉市中央区生実町 2407-1 / ・特別養護老人ホーム淑徳共生苑 ・淑徳共生苑短期入所生活介護事業所

・淑徳共生苑通所介護事業所・淑徳共生苑居宅介護支援事業所 / TEL: 043-265-5526 FAX: 043-265-0091

・淑徳おゆみ診療所 / TEL: 043-265-8026 FAX: 043-265-8027

千葉市中央区星久喜町 1162-71 / あんしんケアセンター松ヶ丘 / TEL: 043-420-8325 FAX: 043-264-8655

近況 特養ユニットより

古里・里山

季節の変わり目が訪れ、すっかり朝晩が冷えこむようになり、入居者様の衣替えを始めました。天気の良い日には、日光浴をしにユニットの隣にある中庭に行き、身体を温め、秋の風を感じて頂いています。この季節の日差しは気持ちがよく、つついウトウトされる方もいらっしゃいました。9月15日には敬老の日という事で、今年度米寿になられた方、また最高齢の方(101歳!)へ表彰状を贈りお祝いをいたしました。(ちなみに、苑全体では101歳の方は3人いらっしゃいます!) また、秋といえば…食欲の秋、という事で今月は特大の梨を皆様に召し上がっていただきました。来月は柿や、焼き芋会などを予定しております♪



で氷を削ります。缶詰の果物を入居者様ご自身でトッピングしていただき、皆様思い思いのかき氷を作られていました。

9月には敬老会を開いて、お寿司とオードブルを用意させて頂きました。皆様、久しぶりのお寿司



に大変喜ばれ、職員手作りの飾りつけも楽しめました。

このユニットには傘寿と米寿の方がいらっしゃり、他の皆

様も含めて長寿のお祝いをさせて頂きました。

近頃は夏の暑さもようやく和らいで、朝晩は肌寒

く感じる季節になってきました。これから新型コロナウイルスだけでなくインフルエンザウイルスも流行する季節になりますので、継続して感染予防に努めていきます。



秀峰・野鳥

まだ日差しの強い8月の終わり、残暑を乗り切ろう!と、焼きそばレクとかき氷レクを行いました。焼きそばレクではホットプレートで入居者様の目の前で調理をして、お祭りの屋台の焼きそばの様に召し上がっていただきました。ソースのいいにおいがユニット中に広がって、皆様には美味しい!と喜んでいただきました。かき氷レクでは、職員が一生懸命手動のかき氷機

夏の間はベランダで夏野菜(きゅうり・茄子・ミニトマト)を育てました。お食事の際に浅漬けにしてお出しし、食べる事が難しい方には野菜をそのまま手に取って頂き、季節を感じて頂きました。

入居者様から好評の生け花も、毎月実施をしています。女性を中心に、花瓶やお花のお好みの物をそれぞれ手に取られ、思



い思いに生け花を楽しんでいらっしゃいました。毎年行っている納涼祭や敬老会は新型コロナウイルス感染症の影響で施設全体での実施が難しく、ユニットの中で実施をしました。夏祭りでは射的やヨーヨー釣り等を行い、最後に職員でソーラン節を踊りました。

また見たい！という嬉しいお声をいただき、敬老会では曲目を増やしてソーラン節を再演！大きな拍手をいただきました。



これから肌寒い季節になってまいりますので、入居者様が暖かく元気に過ごすことのできるよう、楽しみながら体を動かすレクリエーションを実施していきたいと思っております。

名山・野原

ご面会の制限も続きやや閉塞感はありますが、カラオケなど皆様が楽しめるレクリエーションを行い、喜んでいただいております。



9月29日には、ユニットで敬老会を行いました。入居者様と職員と一緒に歌を歌ったり、

お菓子をつまんでみたりと、皆様の笑顔が溢れていました。お出ししたケーキを、皆様がとても美味しそうに召し上がられていたのが印象的でした。これからは秋の果物を召し上がっていただき、季節を感じていただこうと考えています。

星空・大空

コロナ禍での日常の過ごし方として、数名ずつの入居者様と一緒に散歩へ行っています。お天気の良いときにベランダや、中庭、一階の東屋で一休み…長い時間ではありませんが、爽やかな風や、綺麗に咲く花を見て喜んでいただいております。

9月14日には、ホットプレートを使用し、かわいいベビーカステラを作り、それぞれ生クリームやチョコレートを乗せて召し上がっていただきました。



目の前でたこ焼きのように焼いていたためか、皆興味津々。あたたかいうちに、何度もおかわりを召上ら

れる方もいました。

9月23日は、敬老会を行いました。例年のように、苑全体の行事ではありませんが、ユニットからお祝いとして、ケーキやお菓子、ジュースやノンアルコールビールを準備し、心より長寿のお祝いをさせていただきました。



看護室より

インフルエンザと新型コロナウイルス

新型コロナウイルス感染症は、私たちの期待とは裏腹に、夏のあいだに消え去ってはくれませんでした——いえ、消えるにはほど遠い状況です。

「ツインデミック (twindemic)」という言葉に耳にした事がありますか？

「ツインデミック (twindemic)」とは簡単にいうと「同時流行」のことを指す造語です。

毎年秋から冬にかけてインフルエンザが流行り始めますが、今年は“新型コロナウイルス”と“インフルエンザ”の同時流行「ツインデミック (twindemic)」の恐れがあります。

今のところ、インフルエンザの予防接種は、新型コロナウイルスの感染や重症化リスク、死亡率の低下と関係するのではないかとされています。

新型コロナウイルス流行により、新しい生活様式に切り替わってもう半年以上経ってしまいました。今後も変わらずにマスク着用・手洗い・うがい・こまめな換気などを継続していき、

三密を避け、ソーシャルディスタンスを守り、予防接種をして…私たち自身で、「ツインデミック (twindemic)」、感染

症の予防を徹底していきましょう！

